北海道離島航路確保対策協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

羽幌港と焼尻島、天売島を結ぶ離島航路(羽幌～天売航路)は、他に島を結ぶ航路がない唯一の航路である。
本航路は、生活物資及びごみ処理、し尿処理車輌の輸送等においてなくてはならない生活の足であり、また、各離島住民は本土の羽幌町の病院や歯科医院へ通院しており、本航路の利用が不可欠となっている。
令和3年3月現在、離島住民の人口は焼尻島が177人、天売島が266人で年々減少し、過疎化も進行しており、また、令和3年3月現在で高齢化率が47.9%(焼尻島55.4% 天売島42.9%)と著しく高い状況にあるなど、航路を取り巻く環境は厳しく、事業者が単独で航路を維持していくことは困難であり、その維持には公的支援が必要な状況にある。

地域公共交通の現況

・沿岸バス(株)
(町内３路線、札幌１路線)
・本離島航路　のみ

生活交通確保維持改善計画の目標

本航路は、利用者が、羽幌～天売航路の利用者は、島民の利用がおよそ20%弱で推移しており、観光客など島外からの利用者が8割以上を占めている。
事業者はもとより関係者の連携のもと、下記の取組により、航路利用者は近年、横ばいで推移している。
・自然体験の学習を目的とした利用者の誘致や学生、家族割引、レンタカーセット割引の実施
・天売島のウニ、焼尻島のサフォークめん羊、羽幌町の甘エビなど地域の味覚を活かした観光イベントとの連携による利用客数の向上
・フェリー乗船割引特典付きの管内バス乗り放題周遊券(フリー切符)の販売
・天売島の海鳥の写真撮影など、体験型ツアーの開発・実施

今後も観光地としての魅力づくりと上記取組に係る情報発信により観光客の維持・拡大を図り、年間約37,000人以上の航路利用者の確保及び欠損の抑制に努める。

協議会開催状況

・令和3年7月7日　令和3年度第1回協議会
(主な協議事項)
令和4年度離島航路確保維持計画案の検討

令和３年度事業概要

天売島・焼尻島両島と本土とを結ぶ唯一の交通手段で、島民の通院や買い物、両島での観光客やビジネス関係者が主な利用者となっており、閑散期(9月1日～5月31日のGWを除く)においては1日1～2便、繁忙期(6月1日～8月31日)においては1日4～6便の運航をすることとしている。

令和３年度事業の実施状況

１）プロセス、創意工夫

離島航路事業運航計画に基づき、航路事業者は、関係機関と連携し、次のとおり事業を行った。

①バス事業者と連携した取組

・路線バスの乗り放題きっぷ（萌えっ子フリーきっぷ）の提示による割引運賃を設定

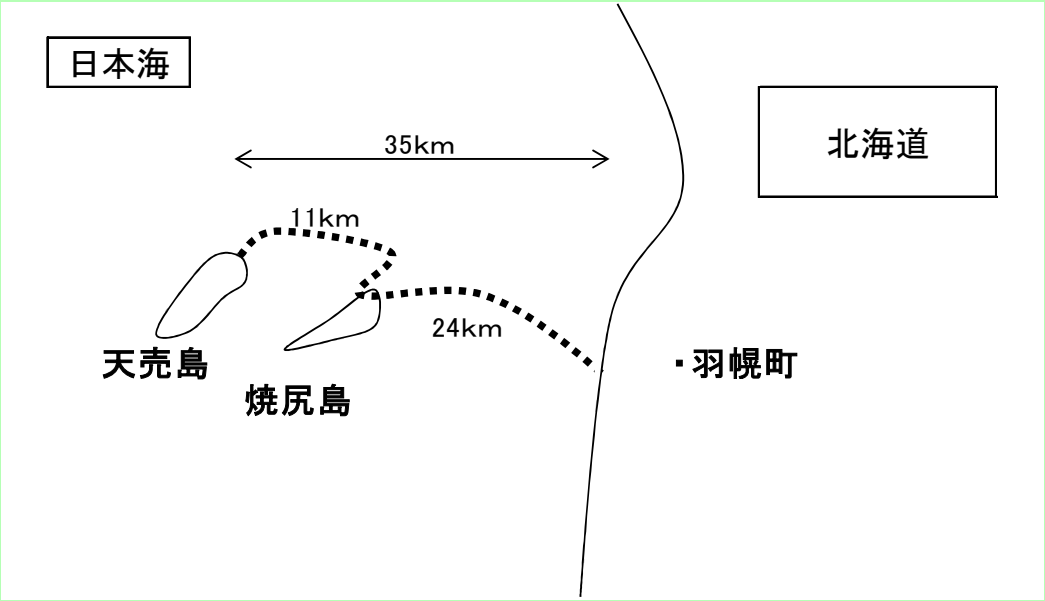
②レンタカー会社及び地元ホテルと提携した取組

・はぼろ温泉サンセットプラザの協力により、上記割引に温泉無料入浴をサービス

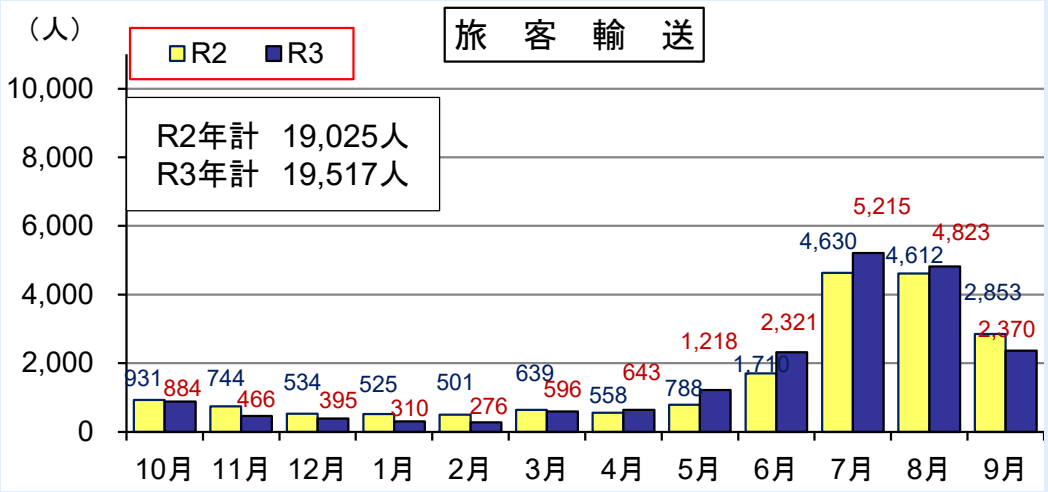
③経費の削減

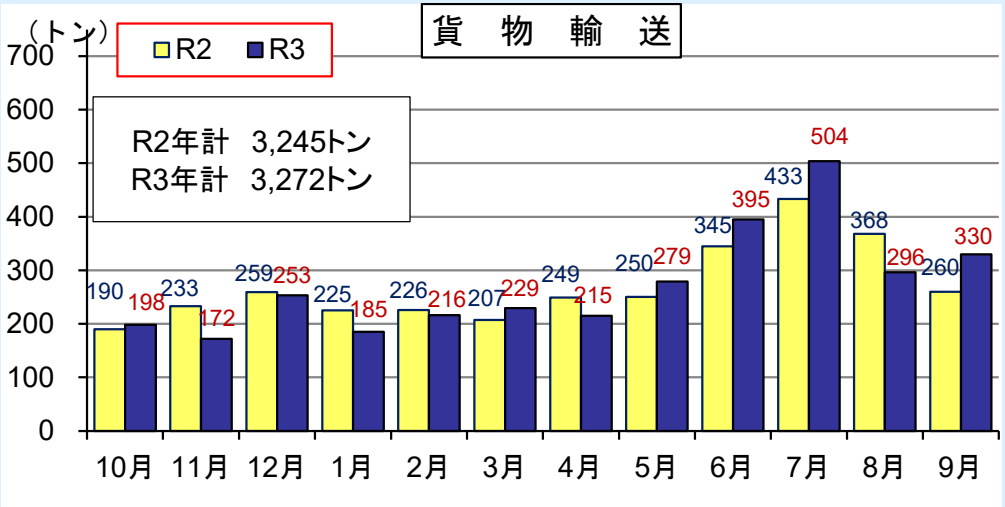
・競争入札の実施（船舶修繕費、燃料費等）など

２）運航航路

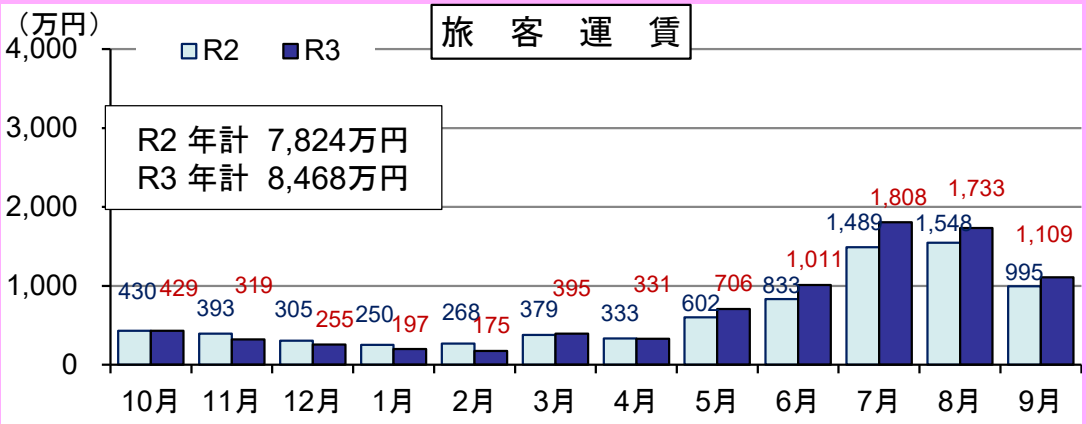


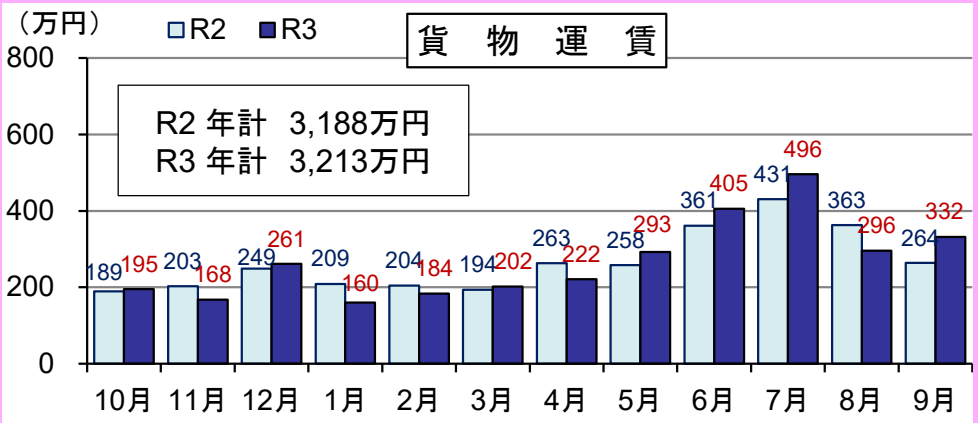
３）利用実績





４）収入実績





※旅客運賃には自動車航走運賃を含む。

〔令和3年度の状況〕

・旅客利用、旅客運賃：前年度と比較し、4月以降の運賃収入が若干増加している。

・貨物利用、貨物運賃：前年と比較し、概ね横ばいで推移しているが、年合計の数値は微増となっている。

5）事業実施の適切性

新型コロナウィルスの影響により、利用客が大幅に減少したことを受け、観光利用が主となる高速船の運休・減便を6月～8月に実施したが、フェリーに関しては、利用が集中する最低限の期間（8月13～15日の3日間）の減便に留め、島民の生活航路としての機能を確保した。

6）目標・効果達成状況

計画時の実績見込に対する達成状況については次のとおり。

○旅客輸送実績
目標値：37,000人　実績値：19,517人　（▲17,483人　達成率：約53%）
○自動車航送実績
目標値：3,395台　実績値：3,179台　（▲216台　達成率約94%）
○運賃収入実績
・旅客運賃
目標値：91,188千円　実績値：41,748千円（▲49,440千円　達成率約46%）
・自動車航送運賃
目標値：46,080千円　実績値：42,928千円（▲3,152千円　達成率約93%）
○運賃収入合計
目標値：180,184千円　実績値：125,103千円（▲55,081千円　達成率：約69%）
○収入合計
目標値：190,125千円　実績値：153,382千円（▲36,743千円　達成率：約81%）

昨年度に引き続き、新型コロナウィルスの影響により、利用客が大幅に減少し、目標値37,000人を大きく下回る結果となったが、昨年度実績を若干上回る実績となっている。

旅客運賃収入については、昨年度実績を上回る旅客運賃収入を確保したものの、コロナウイルス感染拡大防止のためフェリーを8月13日～15日に、高速船を6月～8月の期間中減便したことにより計画数値を下回った。

しかし、費用については競争入札の実施等により、新型コロナウィルスによる厳しい状況に対応すべく、欠損額の抑制に努めた。

7）事業の今後の改善点

イベント参加等をはじめとしたプロモーションや広告宣伝事業の実施については、新型コロナウィルスの影響によるイベントは一部の実施に留まったが、今後の感染拡大の状況に注視しつつ、関係機関と連携した利用促進に向けた取組を継続していくとともに、一層の経費削減を行い欠損額の抑制に努める。

8）地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果

昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響により旅客数が大幅に減少するなど厳しい状況であったが、競争入札を実施するなど運航事業者自らも経費の節減を行うとともに、安全運航につとめ、適切に事業が実施されている。前述により、運賃収入全体として旅客及び自動車航送は輸送実績、運賃収入ともに目標値を下回ったが、欠損額の抑制に努めた。引き続き新型コロナウィルスの感染拡大防止対策をはじめとした取組を行い、コロナウイルスの感染状況に応じて関係機関と連携した旅客利用促進の取組みや天売島、焼尻島の魅力を発信するような宣伝広告を行い、フェリー利用促進を図るとともに、一層の経費削減を行い、欠損額の抑制につとめることを期待する。